

校長室だより No 16

月食の観測を親子で・・・

2021年 11月18日 柏市立土小学校 校長 梅津健志

明日は、日の入りと同時に満月が上がってきます。そして、その満月が欠ける月食が観測できます。部分月食のようですが、柏ではほぼ全て欠ける(97.8%)皆既月食に近い形で見えるようです。時間も 5 時頃の月の出から既に月食が始まり、最大に欠けるのが6時2分頃、月食の終わりが7時47分頃になっており、子供たちが観測するにはちょうどよい時間帯の天体ショーになります。ぜひ、親子で観測をしてみてください。

昨日も、しし座流星群が最大になる日でした。今朝の 0 時過ぎくらいからたくさんの流れ星が流れたようです。インターネットでライブ中継もしており、机の上で画面を見ながら「お！流れた」と見ましたが、寒い中 10 分ほど外に出て実際の流れ星を見ると、空の広さ、月が明るいために流星もさらに明るく、また寒さが体に染みる中、画面とは感じ方が全く違うことを実感しました。

流星と私が出会ったのは小学校4年生の時。その時の担任の先生は毎月自由研究の宿題を出す先生で、月末には必ず発表会がありました。私は社会科が好きだったので、社会を調べたり、富士山の立体地図を作ったりしたかすかな記憶があります。2 学期に入り、友だち 4 人と流れ星の観察を毎日 30 分やってそれを発表すればいい！と手順の楽さと、夜に外出する楽しさで流星の観測を始めました。毎日 30 分間に見えた流星の数を東西南北ごとに表にするだけの自由研究です。観測を始めて 2 か月目に、しし座流星群に出会ったのです。やたらたくさん流れ星が流れ、大きな火球も見え、その火球の記憶は今も鮮明です。なんでこんなに流れるの？と調べてみると流星群ということがわかり、図鑑で調べた流星群のことと、毎日の観察結果の数字と合わせて、やっと自由研究らしさが出て、その後は春まで流星の観測を続けました。

大人になった今も新しいプロジェクトを行ったり、色々調べたりすることを楽しめるのは、この時の自由研究がベースにあると感じます。本物の持つ凄さから感動と一緒に学んだこと、寒いけれど毎日声をかけあいながら続けて積み重ねたら「塵も積もれば山となる」になったこと、などが知らないうちに魂になっているのですね。小学校時代の様々な直接体験が大人になってから生きてくると思います。ネット時代ですが、直接体験できる月食観測を味わってみてください。私は小2の時に初めて月食を見て、5分ごとに絵を描き、最後は寝てしまいましたが・・・その絵はまだ残っておりいい思い出です。

土小学校の経営に関してお気づきの点やよい改善案は、お聞かせください。

入力フォームは、右の URL です。

<https://forms.office.com/r/BiUUZUnxvy>